

平成27年度修業式辞

○本日をもって、平成27年度の課程が修了します。教室を1階降りて、新年度を迎える準備ができたようですが、4月からは、2、3年生として、後輩を引っ張っていく立場となります。この1年間、自分なりに頑張っていて今日を迎えている人、怠けてしまったと反省している人など様々なのではないのでしょうか。

東日本大震災から5年

○ところで、3月になるとやはり東日本大震災のことが強く心に蘇ってまいります。今年で、5年目を迎えましたが、報道によれば、現在でも17万4千人が避難生活を送っているとのこと。今なお傷の癒えない被災者の皆様にお見舞を申し上げます。

○先の3月11日には、読売、朝日、毎日の各紙が、別刷りで特集記事を組んでいました。津波で瓦礫に埋もれた海岸が整地された写真が、被災地で頑張っている若者の笑顔などとともに掲載されており、絵だけを見ていると復興が随分進んだように思えます。

しかし、住民が戻って家を建てる環境が整ったとしても課題は多いようです。人々が生活するには、学校や日用品を買えるお店が必要です。働ける職場も必要です。逆に、人が生活するところにしか学校やお店はできません。まだまだ解決していかななくてはならないことが山積しています。

○私も、昨年の8月に久しぶりに宮城県の石巻市を訪ねてみました。土地整備の工事が進み瓦礫はほとんど見られません。一方で、海岸沿いに防潮堤の工事が見られます。被災地各地で、10mを超えるような海の見えない防潮堤について議論を呼んでいます。私たちの先祖はこのような高さの堤防は持たずに暮らしてきました。津波が来ないように囲ってしまうのか、初めから高台で生活すべきなのか難しい問題でだと思います。

○私自身、この震災を契機に、自分自身の生活や社会の有り様について、考え直さざるを得なくなりました。今まで疑問を持たなかったことにも、本当にこれでいいのかと関心を持って目を向けるようになりました。

○皆さんにとっては、小学校5、6年生の時の出来事でしたが、どのような受けとめ方をしたのでしょうか。皆さんの受けとめたものを風化させずに、心の中で進化させていってほしいです。

○そして、2学年の一部の人は、7月には、選挙で投票権を持ちます。震災の復興のことだけではなく、社会に関心を持ってください。そして、今一生懸命やっている勉強や部活動が、自分自身にはどのような意味を持ち、社会的にはどのような意味をもつのかと考えてみると、今を頑張る意味が、もっと見出せるようになるのではないかと思います。

今年度を振り返って

○次に、年度末にあたり、本年度を振り返ってみたいと思います。まず思い浮かぶのは様々な充実した

行事です。東陵祭、スポーツ大会、遠足や修学旅行。合唱コンクールは練習通して、クラスがまとまる絶好の機会となったと思います。

○校外での活動も活発に行われました。先週も「鹿沼市民協働まつり」で、書道部がパフォーマンスを行って、部長さんが下野新聞の記事で紹介されていました。鹿沼のぶっつけ祭り、4校合同文化祭、市民音楽祭、老人ホームへの訪問、特別支援学校の運動会への協力などなど、直接私が見聞きした活動はほんの一部ですが、地域への貢献活動にもたくさん参加し、東高らしさを発揮してくれました。

○部活動では、弓道部、陸上部、放送部が今年度も全国、関東への出場を果たしました。書道部、美術部の展覧会での入賞もありました。卓球部、女子バスケットボール部のベスト8の活躍も印象に残っています。思うような成績が残せなかった部も、日頃一生懸命練習に取り組んでいたと思います。4月になるとすぐに大会が始まります。特に3年生になると引退まであと少しの期間ですので、最後まで頑張ってください。

○学習面についてはどうだったでしょうか。

本校では毎年10月に、生徒・保護者・教職員を対象に「学校評価アンケート」を行っています。本校のホームページにも公表しています。その中で「私は、学習に意欲的に取り組んでいる」の項目に、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と答えた人の割合は、昨年度も今年度も74%と同率でした。しかし、「よくあてはまる」だけを比較すると、22%から19%に減っています。そして「部活動と学習の両立ができている」に「よくあてはまる」と答えた割合も昨年度の24%から19%に減っています。

この自己評価の数字が現状をありのままに表しているとまでは言いませんが、大きな課題であることは確かです。皆さんの持てる力をまだまだ出し切っていないのではないのでしょうか。最近の学習時間調査では、一部に学習時間の伸びも見られると聞いていますが、来年度に向けて、気持ちを引き締めて学習にあたってほしいと思います。

○この「学校評価アンケート」の中から、特に目立ったことをひとつ上げておきます。

「校内の清掃・美化が行き届いている」この項目の評価が、生徒・教職員ともに、19項目中最下位の評価でした。数字を見ても「よくあてはまる」「ややあてはまる」とともに昨年度より6、7ポイント数字を下げています。これはちょっと残念な数字でした。私の経験上では、身の回りの整理整頓ができない人は、なかなか成果を上げられないものです。身近なことに関心が及ばないということは、頭の中が整理整頓されていないから、ということなのかもしれません。

世間ではとても大切にしていることで、トヨタ自動車が世界一になった大きな理由のひとつが5S（整理整頓・清掃・清潔・しつけ）であったと言われています。このことも来年のひとつの課題となるのかもしれないね。

春休みを大切に

○さて、本日をもって14日間の春季休業に入ります。

この期間を漫然と過ごしてしまうのか、新学期までに、頭や体にたっぷりと栄養をつけて過ごすのかで、卒業時には大きな違いが現れます。2年生は、来年1月のセンター試験まで42週間。1年が52

週ですから、もう1年の5分の1は終わっています。その42週のうちの2週間です。試験直前の2週間も、授業のない春休みの2週間も時間は同じ、取り組みの気持ち次第で大きな力を付けられるはずで
す。

自分の気持ちをしっかり盛上げて、いい春休みを過ごしてください。

以上で、私の話を終わります。